

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。春が待ち遠しい季節になりましたが、まだまだ寒い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

日常生活の中に浸透している仏教用語をお伝えしているかわら版。仏教用語がたくさん定着しているのには驚きます。

三月と言えば、受験シーズンもいよいよ終盤。受験生の皆さん、頑張ってください。縁起を担いでお寺や神社にお参りにいたり、験(ゲン)担ぎで何か縁起の良さそうなことをしたり、受験生だった頃を思い出します。

この「縁起」も仏教用語です。何となくそんな語感が伝わってきますが、サンスクリット語の「プラティートヤ・サムウトパーダ」という言葉が漢訳されて「縁起」となりました。

「プラティートヤ」は「何々に縁(よ)って」「何々に依存して」という意味。一方、「サムウトパーダ」は「共に生起(しよき)する」「共に発生する」という意味です。つまり、「縁起」とはいろいろなことが「縁」として関係し合っ

て「起」きているということ。

「縁起」が良いのは、たまたま運が良くして好事が起きているのではなく、そうなるべくして起きたこと。「縁起」が悪いのも、たまたま運が悪くて悪事が起きているのではなく、そうなるべくして起きたことです。

自分の身の回りに起きる「縁起」が良いことも、「縁起」が悪いことも、すべてそこまでの自分の行いや様々な自分の身の回りの出来事の積み重ねとの関係で起きていることを論じています。

英語に「ラスト(last)ストロー(straw)」という言葉があります。「ラスト」は「最後」「ストロー」は「藁(わら)」。 「ラストストロー」は「最後の一本の藁」です。

馬や駱駝(らくだ)や牛は重い荷物を運びますが、さすがに限界があります。限界ギリギリに達している時には、「最後の一本の藁」を背中に載せると、力尽きて立っていられなくなりま

※ 「ラストストロー」は力が尽きるきっかけに過ぎず、それまでの重い積み荷が力が尽きる原因です。つまり、何か起きる時には、そうなる原因が積み重ねられて起きているのであり、急に、あるいは偶然に起きているのではないことを論ず英語の慣用句です。

「縁起」が良いのも悪いのも、それまでの積み重ねの結果。「縁起」が良いことをすれば好事が起きるのでも、「縁起」が悪いことに遭遇したので悪事が起きるわけでもありません。

コツコツとした努力、日頃からの行いの結果として、「縁起」が良いことも悪いことも起きるのです。

そのことが腹に落ちると、毎日毎日の積み重ねが疎かにできません。そのことを論ず言葉が「日は好日(にちにちこれこうじつ)」。毎日が良い日となるように、日々最善を尽くしなさいということなのです。

「縁起」が良くなるように「日は好日」、頑張ります。それでもまた来月まで、お元気で過ごしてください。合掌。



かわら版執筆者大塚耕平
玉山「耕庵」 <https://ko-an.blog/>

知県名古屋市生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、中学校を卒業。2002年から地元の歴史・文化と振興のために、日泰寺の縁日(毎月21日)に「弘法さんかわら版」をお配りしています。2013年から知立遍照院の縁日でも「弘法さんかわら版」がスタート。

全国先達会、愛知県先達会、東日本先達会などで仏教関係の講演を行っているほか、毎年年末には日泰寺西隣の専修院で「弘法さんを語る会」を開催。中日文化センター「くらしの中の仏教」講座の講師も務めています。

著書に「弘法大師の生涯と覚玉山」、「仏教通史」、「四国霊場と般若心経(大法輪閣)」など。

愛知県立旭丘高校、早稲田大学・大学院を経て、日本銀行に18年間勤務した後、2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。

現在、早稲田大学と藤田保健衛生大学医学部の客員教授を兼務。元中央大学大学院客員教授(2005~17年)。早稲田大学博士。

大塚耕平事務所 ☎052 757 1955 担当:あさい
名古屋市千種区覚玉山通 9-19 覚玉山プラザ 2F

